SOPHOS
Security made simple.

Sophos SafeGuard File Encryption for Mac クイックスタートアップガイド

製品バージョン: 7
ドキュメント作成日: 2014年 12月

目次

1 Sophos SafeGuard File Encryption for Mac について

Sophos SafeGuard File Encryption for Mac は、Sophos SafeGuard Enterprise によって Windows 環境に提供されるデータ保護機能を Mac 環境に拡張したものです。ローカルドライブ、ネットワーク共有、リムーバブルドライブ、およびクラウドストレージにあるファイルを透過的に暗号化します。SafeGuard File Encryption for Mac を使用して暗号化・復号化したファイルは、他のユーザーと安全に交換することができます。

- 指定した場所に作成した新規ファイルは、自動的に暗号化されます。
- 暗号化されたファイルに対する鍵がある場合は、ファイルの読み取り、変更が可能です。
- 暗号化されたファイルに対する鍵がない場合は、暗号化された内容が表示され、平文で読むことはできません。
- 暗号化されたファイルに、File Encryption がインストールされていないコンピュータでアクセスすると、暗号化された内容が表示されます。

2 初回ログイン

このマニュアルの内容は、「**Sophos SafeGuard File Encryption for Mac 管理者ヘルプ**」の説明に従ってソフトウェアがインストールされており、SafeGuard Enterprise サーバーと問題なく通信できることを前提としています。

1. Mac の電源を入れます。
2. OS X パスワードを使用して Mac にログインします。
3. 製品インストール後の初回ログイン後は、以下のようなダイアログでパスワードを再入力する必要があります。

図 1: **このログインダイアログは、製品インストール後、各ユーザーに対して初回ログイン時のみに表示されます。**

4. パスワードを入力し、「OK」をクリックして確定します。

   注: 製品を正しく使用するには、個人証明書が必要です。この証明書は、各ユーザーがログインダイアログでパスワードを入力すると生成されます。これは、製品インストール後、初回ログイン後、またはパスワードのリセット後のみに必要です。

5. 各ユーザーに割り当てられたセキュリティ設定に準じて、デスクトップに 1つまたは複数の新しいボリュームが表示されます。

   重要: Finder で、「接続しているサーバ」オプションが有効に設定されていることを確認してください。「**Finder - 環境設定**」の「一般」タブを選択し、「**接続しているサーバ**」オプションを有効に設定します。

3 SafeGuard File Encryption for Mac の使用

セキュリティ管理者は、特定のディレクトリやボリュームにあるファイルを、SafeGuard File Encryption for Mac で暗号化するかどうかを指定できます。Spotlight 検索やバージョン履歴の保存 (「すべてのバージョンをブラウズ...」) は使用できません。ローカルディレクトリを参照するボリュームは、取り出しても、自動的にただちに再接続されます。

暗号化は透過的に実行されます。初期暗号化後、暗号化対象に指定されているボリュームやディレクトリ (「保護されたフォルダ」と呼びます) 内のファイルは、常に暗号化された状態になります。

3.1 初期暗号化

まず、初期暗号化を実行します。

1. 「**システム環境設定**」を開きます。
2. Sophos Encryption アイコンをクリックします。

3. 「**Policies**」(ポリシー) タブを選択します。
4. 「**Locally Translated Path**」(ローカル変換されたパス) ビューに切り替え、「**Enforce all policies**」(すべてのポリシーの適用) をクリックして、すべてのポリシーを適用します。

この操作を実行すると、暗号化されていないファイルはすべて暗号化されます。

ポリシー 1つを施行する場合は、該当するポリシーをマウスで選択し、「**Enforce Policy**」(ポリシーの施行) をクリックします。ポリシー 1つを選択から外す場合は、「**コマンド**」キーを押しながら、該当するポリシーをマウスでクリックします。

4 Sophos SafeGuard File Encryption システム メニュー

システムメニューには次のような情報と機能が表示されます。

1. ファイルを選択すると、暗号化や鍵の状態がメニューバーのアイコンに自動的に示されます。

	緑色のアイコン:ファイルは暗号化されており、対応する鍵があります。
	赤色のアイコン:ファイルは暗号化されていますが、対応する鍵がありません。
	灰色のアイコン:ファイルの暗号化が必要です。(*)
	黒色のアイコン:ファイルは暗号化から無視または除外されています。

(*) このアイコンが表示される場合の例:暗号化ポリシーが適用済みのディレクトリにある、暗号化されていないファイルを選択すると、アイコンはグレー表示されます。このファイルを暗号化するには、「**Policies**」(ポリシー) タブを開き、このディレクトリに適用済みのポリシーを選択して、「**Enforce Policy**」(ポリシーの施行) を選択します。

2. ファイルの暗号化中、メニューバー アプリ アイコンの外側の輪が回転します。この動作は、ファイルの現在の暗号化状態に依存しません。
3. 選択したファイルやボリュームに応じて、以下のようなメニューアイテムが表示されます。

   - 現在の暗号化や鍵の状態:

     ファイル、ディレクトリ、またはボリュームを選択すると、現在の暗号化の状態に関するメッセージ、必要な鍵の鍵名、およびユーザーがこの鍵を所有するかどうかに関する情報が表示されます。

     注: ファイルやディレクトリの現在の暗号化や鍵の状態を表示するには、一度フォーカスをデスクトップなどに移動した後、再びファイルやディスクトリにフォーカスを移動することが必要な場合もあります。

   - 使用可能な SafeGuard の保護されたフォルダ (マウントポイント) の一覧

     注:

     保護されたフォルダのアイコンにカーソルを移動すると、そのフォルダのフルパスが表示されます。

   - **Open Sophos Encryption Preferences...**

     Sophos Encryption 環境設定ペインを表示するためのオプションです。

5 環境設定ペイン

環境設定ペインでは、特定のアプリケーションやシステムに対する設定を指定できます。Sophos Encryption を Mac クライアントにインストールすると、「**システム環境設定**」に、次の環境設定ペイン アイコンが表示されます。

アイコンをクリックすると、Sophos Encryption 環境設定ペインが開きます。「**About**」(情報) 画面が表示されます。

メニューバーから、次のタブを開くことができます。

5.1 「About」タブ

「**About**」(情報) タブには、Mac にインストールされている製品のバージョン、および著作権や登録商標に関する情報が表示されます。インストールされている場合は、Sophos SafeGuard Disk Encryption や Native Device Encryption も表示されます。

ウィンドウ下部のリンクをクリックすると、ソフォス Web サイトが開きます。

5.2 「Server」タブ

「**Server**」(サーバー) をクリックすると、次の情報と機能が表示されます。

Server Info (サーバー情報)

- **Contact interval:** サーバーとの同期頻度。セキュリティ担当者によって一元的に定義されます。
- **Last Contacted:** クライアントが、前回サーバーに接続した日時。
- **Primary Server URL:**プライマリサーバーの URL。
- **Secondary Server URL:**セカンダリサーバーの URL。
- **Server Verification:** SafeGuard Enterprise サーバーに接続するための SSL サーバー検証が有効または無効であることが表示されます。

Drag configuration zip file here (構成 ZIP ファイルをここにドラッグ＆ドロップする)

このドロップゾーンに構成 ZIP ファイルをドラッグ＆ドロップして、SafeGuard Management Center から Mac クライアントに構成内容を適用します。

Synchronize (同期)

ポリシーや鍵などのデータベース情報を手動で同期するには、このボタンをクリックします。この操作は、SafeGuard Management Center で設定を変更した後などに必要になることがあります。

同期に失敗すると、次のアイコンが表示されます。

問題が解決しない場合は、セキュリティ管理者に問い合わせてください。

Company Certificate （企業証明書）

- **Valid from:** 証明書の有効期限の開始日時
- **Valid to:** 証明書の有効期限の終了日時
- **Issuer:** 証明書の発行元インスタンス
- **Serial:** 企業証明書のシリアル番号

5.3 「User」タブ

「**User**」(ユーザー) をクリックすると、次の情報が表示されます。

- **Username**: 現在ログオンしているユーザーのユーザー名。
- **Domain**: クライアントが所属するドメインディレクトリ。ローカルユーザーに対しては、ローカルコンピュータ名が表示されます。
- **SafeGuard User GUID**: 初回ログオン後、ユーザーに対して生成された GUID。

2つ目のパネルでは、次のオプションを選択/選択解除できます。

- **Show System Menu for File Encryption**: 選択すると、メニューバーに Sophos SafeGuard アイコンが表示されます。詳細は、Sophos SafeGuard File Encryption システム メニュー (p. 6) を参照してください。

3つ目のパネルには、「**User Certificate**」(ユーザー証明書) に関する情報が表示されます。

- **Valid from:** 証明書の有効期限の開始日時
- **Valid to:** 証明書の有効期限の終了日時
- **Issuer:** 証明書の発行元インスタンス
- **Serial:** 証明書のシリアル番号

5.4 「Keys」タブ

「**Keys**」(鍵) をクリックすると、すべての鍵の名前が一覧表示されます。

画面右下の「**Number of Keys**」(鍵の数) の横にあるリストアイコンをクリックすると、各鍵の GUID 情報の表示/非表示を切り替えられます。

「**Key Name**」(鍵名) または「**Key GUID**」(鍵 GUID) というヘッダを使って鍵を一覧表示したり、ソートしたりできます。

青字で表示される鍵は、ユーザーの個人鍵です。

5.5 「Policies」タブ

「**Policies**」(ポリシー) タブをクリックすると、ポリシーのビューが表示されます。タブの右下に表示される各アイコンをクリックすると、「**Locally Translated Path**」(ローカル変

換されたパス) ビューや、「**Received Policies**」(受信したポリシー) ビューに切り替わります。

- 「**Locally Translated Path**」(ローカル変換されたパス) には、その時点で特定の Mac にログインしているユーザーに適用されるポリシーのみが表示されます。表の各列には次の情報が表示されます。
  - @ マーク: 初期暗号化や、容量の大きなファイルの暗号化処理中に、「@」と表示される一番左側の列に、暗号化処理が終わるまで丸い回転マークが表示されます。
  - **Mode** (モード): 「**encrypt**」(暗号化) または「**exclude**」(除外) のどちらかが表示されます。

    注:

    モードの詳細については、「**SafeGuard Enterprise 管理者ヘルプ**」を参照してください。

  - **Scope** (範囲): サブフォルダが暗号化の対象であるかが表示されます。
  - **Key Name** (鍵名): 対象の場所に割り当てられた鍵の名前が表示されます。

    青字で表示される鍵は、ユーザーの個人鍵です。

    オレンジ色で表示される鍵は、ユーザーに適用されているポリシーで設定されたものです。しかし、鍵リングに割り当てられていないため、鍵の所有者はユーザーではありません。このため、データにアクセスする際、問題が発生することがあります。この場合は、セキュリティ担当者までお問い合わせください。

  「Received Policies」(受信したポリシー) ビューに切り替えるには、タブの右下の「**Policy**」(ポリシー) ビューの右端に表示される以下のアイコンをクリックします。

- 「**Received Policies**」(受信したポリシー) ビューには、サーバーから受信したポリシーすべてが表示されます。このビューは、SafeGuard Management Center のビューと同じです。表には次の情報が含まれます。
  - **Received Policies** (受信したポリシー): 暗号化対象のファイルやフォルダが表示されます。
  - これ以外の列には、前述の「**Locally Translated Path**」(ローカル変換されたパス) ビューと同じ情報が表示されます。

保護対象のフォルダを表示し、「Locally Translated Path」ビューでポリシーを適用する

「**Locally Translated Path**」(ローカル変換されたパス) の表でポリシーが選択されている場合 ① は、次の操作を行えます。

- 「**Show in Finder** 」(Finder で表示) ボタン ② をクリックし、保護されたフォルダ (マウントポイント) を Finder ウィンドウで開き、内容を表示する。
- 「**Enforce Policy**」(ポリシーを適用) ③ をクリックし、選択したポリシーを、許可されているファイルすべてに適用する。プログレスバーが表示されます。システムでポリシー

の適用処理が完了するまで待ちます。または、プログレスバーの横にある ×マークをクリックして処理をキャンセルします。

注:

ポリシー1つを選択から外す場合は、「**コマンド**」キーを押しながら、該当するポリシーをマウスでクリックします。

注:

書き込み禁止ファイル、または権限がないためアクセスできないファイルは、暗号化の対象から除外されます。

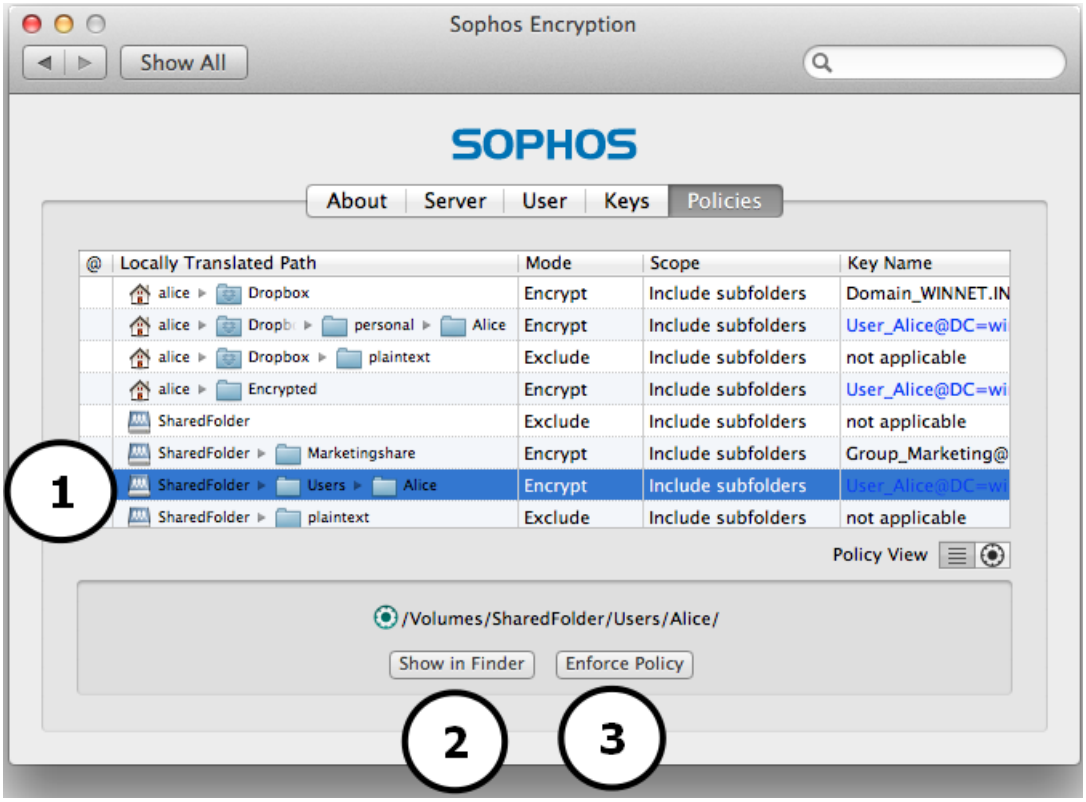


図 2: 「Policies」**タブ画面** - 「Locally Translated Path」**ビュー**

ポリシーを適用後のファイルの処理

ポリシーの適用後、ファイルは次のように処理されます。

- 平文のファイルは、ポリシーで適用された暗号化鍵で暗号化されます。
- ポリシーで指定された暗号化鍵で暗号化済みのファイルは、暗号化された状態が維持されます。
- 別の暗号化鍵で暗号化済みのファイルは、次のように処理されます。
  - ユーザーの鍵リングに対応する暗号化鍵がない場合は、変更されず同じ状態が維持されます。
  - ユーザーの鍵リングにポリシーで割り当てられた暗号化鍵がある場合は、その暗号化鍵で再暗号化されます。

- 複数回暗号化されているファイルは、ポリシーで割り当てられた暗号化鍵で、暗号化が1回行われます。必要な暗号化鍵のいずれか1つを利用できない場合、このようなファイルは可能な限り復号化されます。

6 リムーバブルデバイスの使用

重要: リムーバブルメディアにあるファイルを暗号化・変更するには、その操作を許可するポリシーおよび鍵が割り当てられている必要があります。

リムーバブルデバイスにあるファイルを暗号化する方法は次のとおりです。

1. デバイスを Mac に挿入します。
2. ファイルの暗号化を確認するダイアログが表示されます。

3. 「**Yes**」(はい) をクリックして確定します。
4. デバイス上のファイルが暗号化されます。アイコンの外側の輪が回転します。
5. デバイス上のすべてのファイルが暗号化されると、アイコンの外側の輪の回転が停止します。
6. リムーバブルデバイスを取り出します。対応するボリュームのアイコンは自動的に消えます。

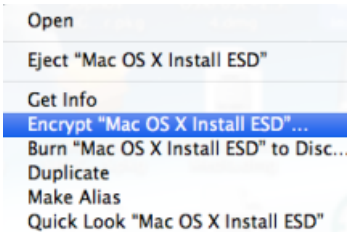
リムーバブルデバイスにあるデータを他のユーザーと交換・変更するには、両ユーザーに適切なポリシーおよび鍵が割り当てられている必要があります。

重要: サイズの大きいファイルをリムーバルデバイスを使って交換する場合は、交換するファイルのサイズの 2倍以上の空き容量がデバイスにあることを確認してください。

7 一般的なヒント

Mac OS X の FileVault 2 ディスク暗号化機能が表示された場合:

(デスクトップや Finder で) ボリュームを選択し、マウスで右クリックすると、「<ボリューム名> を暗号化 ...」というメニューアイテムが表示されることがあります。



これは、アップル OS X に搭載されているディスク暗号化アプリケーション FileVault 2 による暗号化機能で、ソフォスの SafeGuard File Encryption アプリケーションとは関係ありません。

8 テクニカルサポート

ソフォス製品のテクニカルサポートは、次のような形でご提供しております。

- 「SophosTalk」ユーザーフォーラム (英語) (community.sophos.com/) のご利用。さまざまな問題に関する情報を検索できます。
- ソフォス サポートデータベースのご利用。www.sophos.com/ja-jp/support.aspx
- 製品ドキュメントのダウンロード。www.sophos.com/ja-jp/support/documentation/
- オンラインでのお問い合せ。
  https://secure2.sophos.com/ja-jp/support/contact-support/support-query.aspx

9 ご利用条件